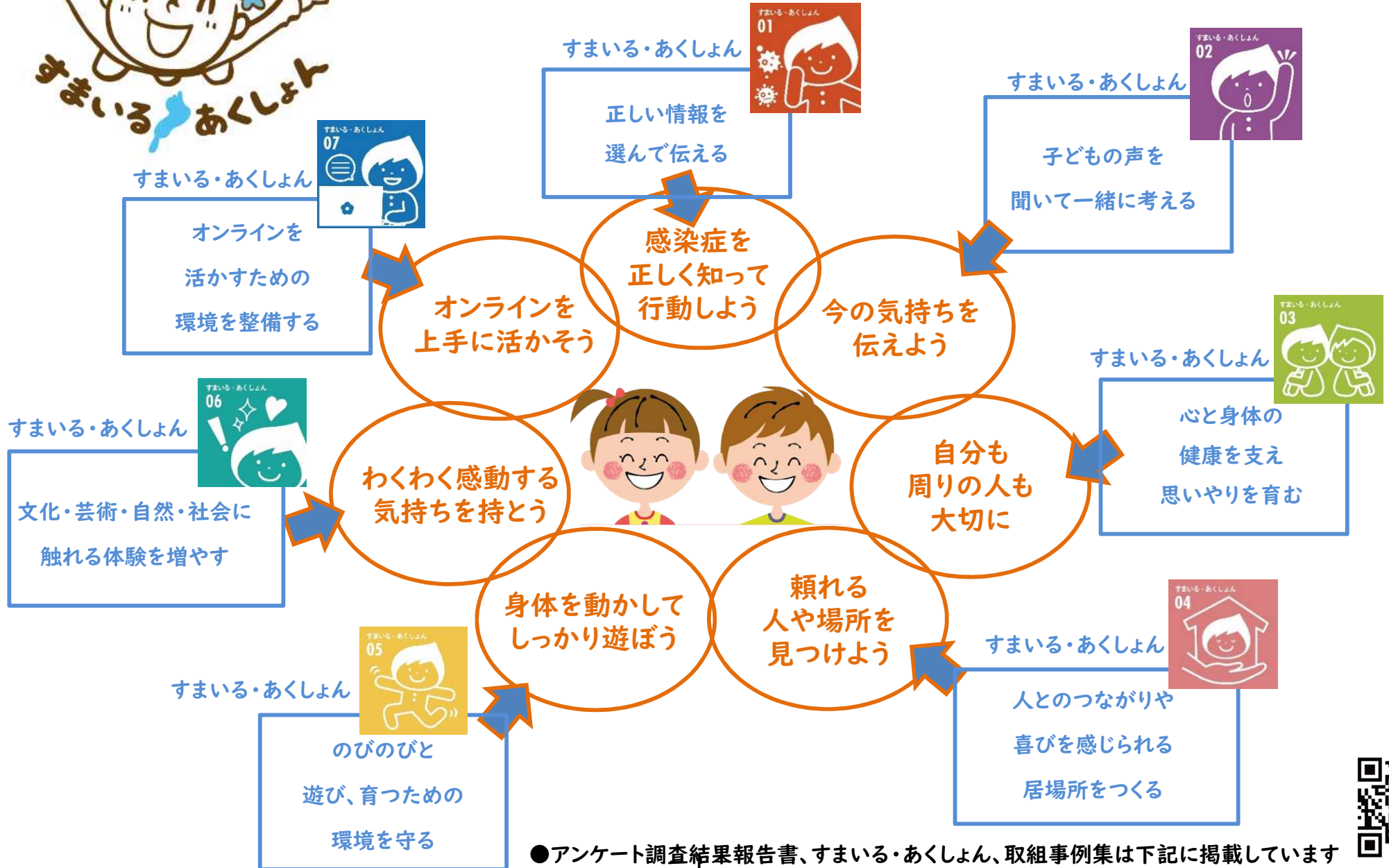


子どもの笑顔を増やすための新しい行動様式

すまいる・あくしよん



すまいる・あくしょん



子どもたちの声

関係者ヒアリング、有識者意見

7つのあくしょん

- ▶国が示している新しい生活様式や感染症対策は、特に未就学児には実践が難しい。
- ▶小学生(高学年)から高校生の約80%が、学校再開後も今後また感染が広がらないか不安。

- ▶アンケートの自由記述欄では、さまざまな子どもたちの声、意見があった。
「このアンケートのおかげで自分が今思っていることを全部かけてきもちがスッキリしました。」

- ▶未就学児の保護者は子どもの今後の成長に影響がないか不安。
- ▶「コロナの症状よりも感染した時の風評被害のほうが怖い。」

- ▶多くの子どもにとって相談できる相手は親や学校の先生と回答している一方、
小学校1～4年生の約14%は困ったときやこれから困ったときに「相談はしない」と回答。

- ▶未就学児の保護者の約90%がのびのびと体を動かして遊べる場所・機会を必要と回答。
- ▶休業中に体力作りに取り組み→学校再開後に学校に行くのがしんどいと思う割合が少ない。

- ▶行事が減ってしまい、残念。(小学生(高学年)から高校生の約70%)
- ▶大学生では、大学に行っていない、アルバイトが減ったなど体験・学びの機会が減少。

- ▶小学生(高学年)約40%、中学生約60%、高校生約70%が休業中にオンライン交流。
- ▶休業中、小学生(高学年)から高校生の約40%が「オンライン学習に取り組んだ」と回答。



- すまいる・あくしょん① 感染症対策について
☆感染症を正しく知って行動しよう
◇正しい情報を選んで伝える



- すまいる・あくしょん② 子どもたちの声、思いについて
☆今の気持ちを伝えよう
◇子どもの声を聞いて一緒に考える



- すまいる・あくしょん③ 心と身体の健康について
☆自分も、周りの人も大切に
◇心と身体の健康を支え思いやりを育む



- すまいる・あくしょん④ 居場所・相談相手について
☆頼れる人や場所を見つけよう
◇人とのつながりや喜びを感じられる居場所をつくる



- すまいる・あくしょん⑤ 運動・遊びについて
☆身体を動かしてしっかり遊ぼう
◇のびのびと遊び、育つための環境を守る



- すまいる・あくしょん⑥ 体験・学びについて
☆わくわく感動する気持ちをもとう
◇文化・芸術・自然・社会に触れる体験を増やす



- すまいる・あくしょん⑦ オンライン交流・学習について
☆オンラインを上手に活かそう
◇オンラインを活かすための環境を整備する